

第1学年1組 道徳科学習指導案

第1学年1組(児童数 28名)

授業者 廣幡 繭子

1 主題名 頑張って 続ける (内容項目:A「希望と勇気、努力と強い意志」)

2 ねらいと教材

(1)ねらい 自分のやるべきことにくじけずに取り組みようとする実践意欲を育てる。

(2)教材名 「やればできるんだ」(出典:「1 きみが いちばん ひかるとき」 光村図書)

3 主題設定の理由

(1)ねらいとする道徳的価値について

一度やろうと決めたことを最後までやり遂げるためには、少しずつでも前に進むようとする姿勢や、向上心を持ち続けることが大切である。やり遂げたときの喜びや充実感を味わうことで、努力し続けることのよさや、努力した自分のよさに気付くことは、児童のこれからの人生において大事な力となる。

低学年の児童は、何事に対しても興味・関心が高く、さまざまなことに挑戦しようという意欲を持っている。しかし、自らががんばろうと決めたことであっても、つらいことや苦しいことがあるとくじけてしまうことも少なくない。困難に負けず、最後まで粘り強く取り組む意欲を育みたい。

(2)児童の実態について

最後まで粘り強く取り組む意欲を育てるために、次のような指導を行ってきた。

①体育「なわとび」

粘り強く取り組み、やり遂げたときの喜びや充実感を味わうために、「なわとびカード」を用いて、様々な技を指導した。休み時間も友達と教え合い、技を習得するたびに喜び合う姿が見られた。

②日常の指導

4月当初から当番活動を行い、10月から係活動に取り組んでいる。当番で活動では、新しい当番に変わったばかりの時は、仕事を忘れてしまい、担任や友達から声を掛けられることも多いが、日々、当番の仕事を続けることで出来るようになってきている。掲示物で仕事が出来たかどうか分かるように工夫したり、帰りの会で当番の仕事の活躍を子供たち同士で伝え合ったりすることで、やれば出来る体験を味わえるように指導してきた。一方で、係活動は、まだまだ上手い出来ないこともあり、諦めてしまい活動から遠ざかってしまう姿も見られる。

本題材を通して、自分ができるようになりたいことに対して、あきらめずに取り組みようとする意欲を育てていきたい。

(3)教材について

本教材には、うんていができなかつた主人公が、諦めずに練習を重ね、できるようになるという、児童作品をもとにした教材である。

教材は、書き手の児童とその父母が、手のひらにできた硬いところについて話しているところから始まり、中盤では、書き手の児童の努力の経緯が語られていく。そして、最後では、うんていが最後までできた喜びとともに、一段抜かしに挑戦したいという次の目標が書かれている。

4 学習指導過程

| | 学習活動 ○主な発問・予想される児童の反応 | □指導上の留意点 ☆評価 |
|----|---|---|
| 導入 | <p>1 事前アンケートの結果を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>がんばると どんなことがあるだろう。</p> </div> | <p>□できるようになったことが多くあることを振り返り、それでもまだできるようになりたいことがあることに気付かせ学びのテーマにつなげる。</p> |
| 展開 | <p>2 「やればできるんだ」を読んで、話し合う。</p> <p>①何回もまめがつぶれたとき、「わたし」はどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるようになるまでがんばるぞ。 ・がんばったしるしができてうれしいな。 ・もうやりたくない。あきらめようかな。 ・なんでできないのだろう。悲しい。 <p>②「わたし」は、どんな気持ちで休みの日もたくさん練習したのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分だけできないのはいやだ。 ・早くできるようになりたい。 ・少しずつうまくなってきた。あと少しがんばるぞ。 <p>③「やってよかったなあ。」と思ったときの「わたし」の気持ちを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手が痛くても、できるようになってうれしかったから。 ・おうちの人にも喜んでくれたから。 ・できることが増えたから。 | <p>□児童を物語の世界に引き込み自我関与を高めるために、事前に登場人物を紹介し、電子黒板による教材提示を行い、読み聞かせをする。</p> <p>□諦めたい気持ちもわいてくるが、「わたし」が強い気持ちをもっていることを確認する。</p> <p>□最後までやり遂げようという気持ちはなぜわいてくるのか、自分の経験を想起させ、ペアで相談するよう促す。</p> <p>□努力することの良さ、それを見守ってくれた人の存在に気付くようにする。</p> <p>☆自分で決めたことを最後までやり遂げることのよさや、つらいことがあっても諦めずに努力することの大切さに気付いている。(発言・ワークシート)</p> |
| | <p>3 自分自身を振り返り、考える。</p> <p>○今○○をがんばっている自分に対して手紙を書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なわとびを頑張っているわたしへ <p style="padding-left: 20px;">今、あや跳びをがんばっていますね。まだ、すぐにひっかかってしまうけれども、これからも頑張れば、○○ちゃんみたいに上手になると思います。あきらめないでがんばってね。</p> | <p>□導入のアンケートで聞いた今できるようになりたいことの内容を電子黒板に提示する。</p> <p>□意図的指名による発表を行う。</p> <p>☆今、自分自身ができるようになりたいことに対して、どんな気持ちでいるのか、自分を見つめている。</p> <p style="text-align: right;">(ワークシート)</p> |
| 終末 | <p>4 おうちの方からの手紙を読む。</p> <p>今、○○をがんばっている○○さんへ。</p> | <p>□頑張っている自分を見守ってくれる存在が自分にもいることを確認する。</p> |